

主員「農業、公共的役割も」

民議 石山院 石衆

登米でTPP反対を訴え

民主党の石山敬貴衆院議員(宮城4区)は13日、登米市の中田農村環境改善センターで講演し、環太平洋の参加国で貿易・投資を自由化する環太平洋パートナーシップ協定(TPP)について参加に反対の姿勢を示した。

講演は参院議員の桜井充副財務相の事務所が主催する「市民政策調査会」の一環で実施。この日は約150人が集まった。石山氏はTPPを巡って世論や党内で意見が鋭く対立している状況について「農業の機能について議論が不十分」と指

摘。多面的な機能もある農業は、農村の雇用や国土の保全に貢献していると論じた。TPP交渉に米国が加わったことで「参加

国は米国の言いなりになる可能性がある」とも強調。参加すると、国際穀物取引を支配する米系商社「穀物メジャー」が、地球規模で発生が予想される食糧不足を背景に日本の農産物市場も支配する恐れがあると訴えた。

氏は、農家への戸別所得補償制度について、安い輸入品につられて国産品の値段が下がったとしても、農家の所得が減らないように税金を投入する仕組みだと説明。消費者も国産の農産物を安く購入できるメリットがあると強調し、「結果的に国

産品の競争力が高まり、自給率も上がる」と論じた。【比嘉洋】
赤ちゃん抱っこ 命の息吹を実感
美里・中3体験学習
美里町立不動堂中の3年生77人は12日、町主催の「赤ちゃんふれあい体験学習」に参加し、新しい命を産み育てる意義を学んだ。

東陵を推薦

県高野連 センバツ 21世紀枠

県高野連は12日、来春の第83回選抜高校野球大会(日本高野連、毎日新聞社主催)の「21世紀枠」候補に東陵を推薦すると発表した。今秋の県大会と東北大会で、ともに優勝した東北を相手に延長戦まで持ち込んだことなどが評価された。同校野球部は1988

3年創部で、88年に夏の甲子園初出場。部員の大半が寮生活を送り、グラウンド以外でも自主性・協調性を身につける人間教育を行うことで、気仙沼市という地理的困難を克服。県高野連は「チームの精神的安定を保っている点は、周囲の模範になっている」とし

今年で5回目、赤ちゃん7人が母親と共に参加。生徒たちは赤ちゃんを交代で抱っこし体のぬくもりや柔らかさを体感した。男子生徒の一人は「赤ちゃんの命の息吹を感じた」と話した。母親らは乳幼児集団健診の際に町からの協力要請に応じた。
この学習は、児童虐待が相次ぐ時代に次世代の親となる若い感性に妊娠・出産や育児の



講師

石山敬貴 衆議院議員

「TPP参加に私は慎重。どうかと言いつつ反対の立場」と訴える石山衆院議員(登米市)